

令和4年度(5年産)ビール大麦生育概況①

農業試験場研究開発部麦類研究室

調査日：令和4年12月20日

(調査基準日12月20日)

【播種期～年内の気象概況】

宇都宮市の平均気温は、11月(11月7日～30日)が平年より2.2℃高く、12月(12月1～19日)が平年より0.2℃低かった。降水量は、11月が平年比104%、12月が38%であった。日照時間は、11月が平年比101%、12月が85%であった。

【播種期～年内の生育概況 農試本場(宇都宮市)】

調査区は、11月7日(平年差+1日)に播種した。ニューサチホゴールドの出芽期は、11月15日(平年差±0日)で、出芽期までに8日間(平年差-1日)を要した。苗立ち数は、平年比116%であった。

12月20日現在、ニューサチホゴールドの草丈は平年比123%、茎数は平年比160%、葉齢は平年より0.8枚多く、葉色(SPAD)は平年比101%で、生育量は平年より上回っている。サチホゴールドの草丈は平年比131%、茎数は平年比155%、葉齢は平年より0.9枚多く、葉色値(SPAD)は平年比93%で、生育量は平年より上回っている。

【今後の気象動向(気象庁季節予報令和4年12月15日発表より引用)】

●平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

- ・向こう1か月の平均気温は、平年並または低い確率ともに40%です。
- ・降水量は、少ない確率が40%です。
- ・日照時間は、多い確率が40%です。

気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)			
気温	関東甲信地方	向こう1か月 12/17～01/16	40 40 20
		1週目 12/17～12/23	30 50 20
		2週目 12/24～12/30	30 50 20
		3～4週目 12/31～01/13	40 40 20
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 12/17～01/16	40 30 30
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 12/17～01/16	30 30 40

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

<予報の対象期間>

1か月	: 12月17日(土) ~ 1月16日(月)
1週目	: 12月17日(土) ~ 12月23日(金)
2週目	: 12月24日(土) ~ 12月30日(金)
3～4週目	: 12月31日(土) ~ 1月13日(金)

【耕種概要等】

調査方法：ほ場調査(出芽期、苗立数、草丈、茎数、葉齡、葉色)

播種期：11月7日(前年11月8日・平年11月6日)

播種量等：条間22cmのドリル播、播種量226粒/m²設定

踏圧：12月9日

【調査結果】

農試本場(宇都宮市)における生育概況

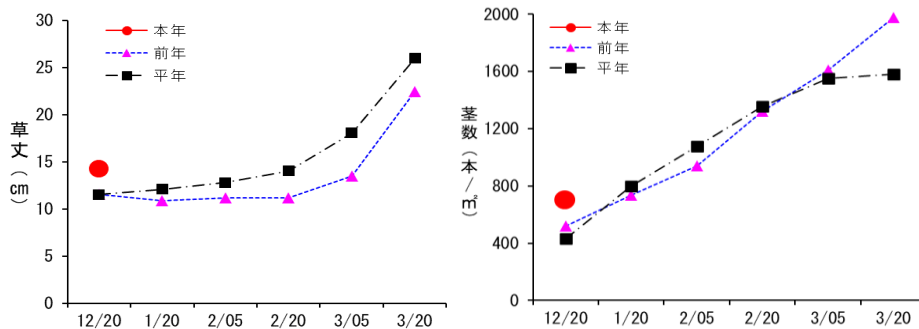
品種名	年度	播種期	出芽期	苗立数 本/m ²	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉齡	葉色 SPAD	正規化植
									生指数 NDVI
ニューサチホ ゴールデン	本年	11/7	11/15	224	14.2	696	4.3	32.6	0.54
	前年	11/8	11/17	187	11.6	522	3.6	34.8	0.49
	比・差	-1	-2	120%	123%	133%	0.8	94%	111%
	平年	11/6	11/15	185	11.5	434	3.6	32.3	0.36
比・差	+1	±0	121%	123%	160%	0.8	101%	150%	
サチホ ゴールデン	本年	11/7	11/15	214	14.7	671	4.4	31.3	0.54
	前年	11/8	11/17	186	11.9	491	3.4	34.5	0.47
	比・差	-1	-2	115%	124%	137%	1.0	91%	114%
	平年	11/6	11/15	184	11.2	432	3.6	33.6	0.37
比・差	+1	±0	116%	131%	155%	0.9	93%	145%	
シュンライ	本年	11/7	11/15	311	11.9	515	3.5	34.9	0.49
	前年	11/8	11/17	246	8.5	415	3.0	39.2	0.42
	比・差	-1	-2	126%	139%	124%	0.5	89%	115%
	平年	11/7	11/16	231	8.3	282	2.8	41.9	0.32
比・差	±0	-1	135%	144%	183%	0.7	83%	153%	
さとのそら	本年	11/7	11/15	184	14.6	520	4.2	34.8	0.50
	前年	11/8	11/17	181	11.7	399	3.4	41.3	0.44
	比・差	-1	-2	102%	125%	130%	0.8	84%	114%
	平年	11/7	11/16	190	11.6	402	3.5	42.7	0.34
比・差	±0	-1	97%	126%	130%	0.6	82%	148%	

注) NDVI：植物体の近赤外域の反射率と赤の反射率から求められ、植生の量や生育の良否を指数化したもの

注) 小数点以下第2位を四捨五入してあり、実際の差と一致しない場合がある

※平年値：ニューサチホゴールデン及びサチホゴールデンは平成25～令和3年度(9年間) シュンライ、さとのそらは令和元年～令和3年度(3年間)

○草丈、茎数の推移(ニューサチホゴールデン)

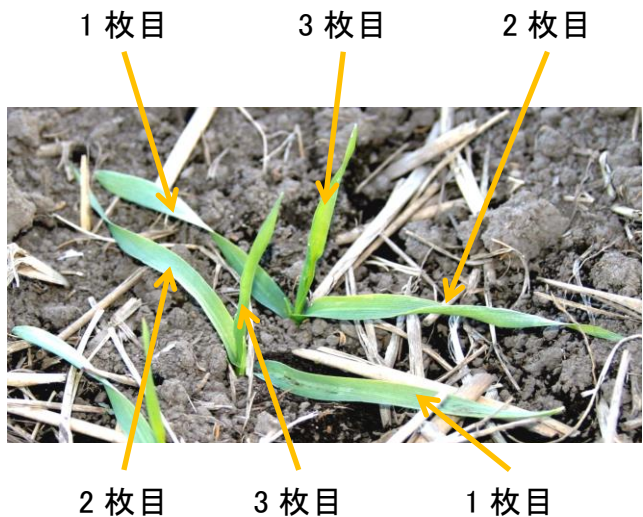


【今後の管理】

向こう1か月の降水量は少なくなることが予想されるが、早期に明渠の整備を行う事が望ましい。整備のポイントとしては、①明渠の出口は排水溝に接続されていてきちんと排水されるか、②溝が土や泥等で埋まっていないか(埋まっていたらさらう)、である。ほ場周縁部に排水溝がない場合は、明渠を深く掘るなど確実に対策を行う。

このような排水対策の実施は、降雨・降雪後のほ場の乾燥を促すため、素早く踏圧を行うことが可能になる。

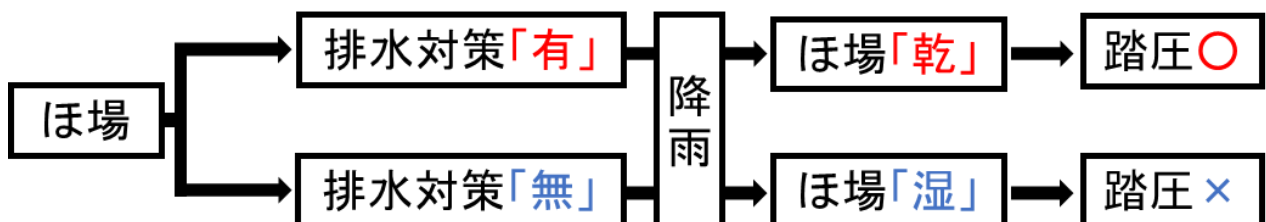
踏圧(麦踏み)は、2.5葉期(図参照)を過ぎた頃に1回目を行い、年内に1~2回行う。踏圧の効果は、“分げつを旺盛にする”、“根はりを良くする”や“霜柱による凍上害を防止する”等があり、麦類の良好な生育には必要不可欠の技術である。しかし、ほ場水分が高い状態で踏圧を行うと、土を固めてしまい、生育に悪影響を及ぼすことがある。そのため、踏圧はほ場の水分量に留意して行うことが重要である。



- 排水溝に接続されている明渠(上)
- 排水溝に接続されていない明渠(右上)
雨が溜まってしまっている。
- 降雨後1日経過、慌てて排水溝に接続している。
(右)

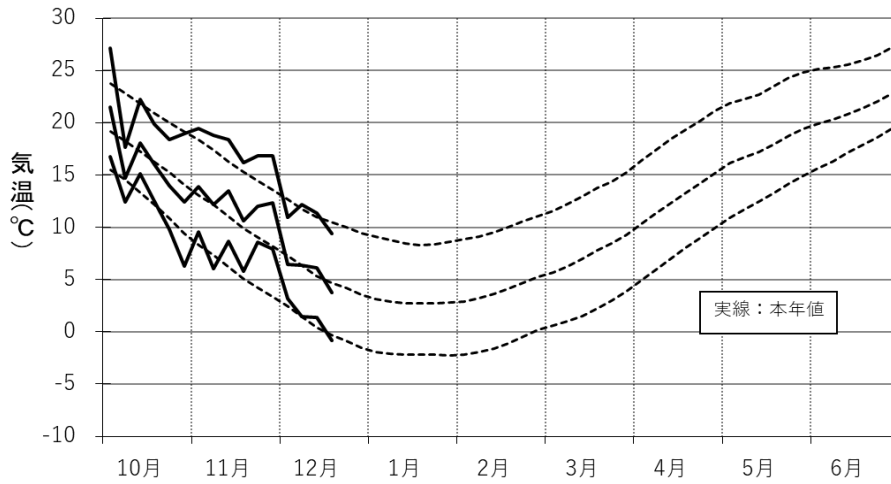


※適切な排水対策により、降雨後でもほ場が乾きやすく、早い時期に踏圧ができる。

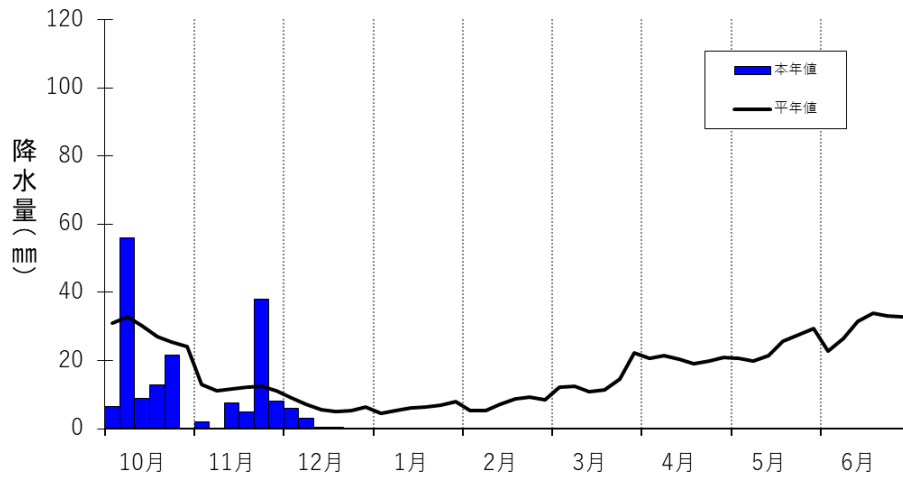


【気象概況】

半旬別平均気温の推移(観測地点: 栃木県宇都宮市)



半旬別積算降水量の推移(観測地点: 栃木県宇都宮市)



半旬別積算日照時間の推移(観測地点: 栃木県宇都宮市)

